

令和6(2024)年2月1日～2月29日に那須塩原市で実施

住民参加型

野生動物への無意識な餌付け ストップキャンペーン

餌の少ない冬に1ヶ月間実施

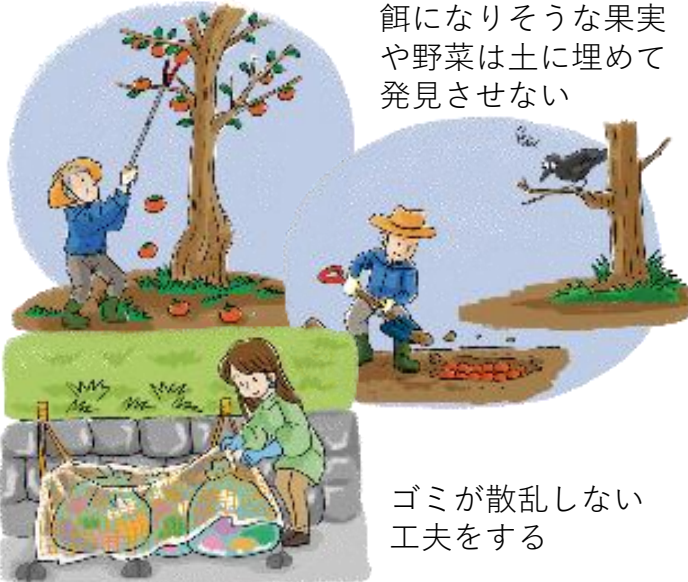
果実や野菜の残渣・生ゴミが野生動物の餌に

追い払うのは対症療法で根本解決にならない



商品にしない果実も摘果する

餌になりそうな果実
や野菜は土に埋めて
発見させない



ゴミが散乱しない
工夫をする

冬に餌資源を減らすことが
野生動物の個体数削減に繋がる



©CrowLab

餌の乏しい冬場に**野生動物**（サル、シカ、イノシシ、ハクビシン、カラスなど）にとっての餌資源を徹底的に管理し、効率的に野生動物の個体数をコントロールすることが「野生動物への無意識な餌付けストップキャンペーン」の目的です。本キャンペーンには、畑の農作物の残渣をきちんと処分する（少なくとも土に埋める）、庭にできた果実を摘果する、生ゴミを徹底的に管理する、餌を与えないといった、住民の皆様のご協力が必要です。

餌の乏しい冬場に一齐に行えば、短期間だけでも効果があると考えられます。また、これらの取り組みを継続して行うことによって、人間と野生動物の共生の一助になります。

ぜひ、住民の皆様のご参加をお願いします。

問い合わせ先：那須塩原市産業観光部農林整備課林務係（電話：0287-62-7148）